

吉田地区まちづくり集会（H25.9.16開催）

吉田地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月16日（月）10：30～12：00

◎場 所 吉田公民館

◎出席団体数 16団体

吉田地区自治連合会、吉田地区社会福祉協議会、奇兵隊吉田本陣跡整備期成会、吉田小学校PTA、つくしの会(吉田緑保育園)、吉田婦人会、吉田商工振興会、吉田地区スポーツ振興会、吉田地区民生児童委員会、吉田消防分団、吉田放課後子ども教室運営委員会、吉田観光協会、吉田園芸組合、長府安全協会吉田支部、農業組合法人吉田ファーム、東行庵世話人会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、政策調整監：星出恒夫
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也
吉田支所支所長：和田勝則

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10：30～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10：35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11：00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12：00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

吉田地区まちづくり集会（H25.9.16 開催）

【開催の様子】

9月16日に開催した吉田地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から15名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、吉田地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

吉田地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

吉田地区まちづくり集会

9月16日

地域課題	個人で解決するもの (自助)	地域で解決するもの (共助)	行政が解決するもの (公助)
高齢者 気楽に雑談できる場所が欲しい(足もない) 独居老人・空き家対策	介護サービスの利用	独居になる前からコミュニティに参加(日頃の挨拶)	
産業 鳥獣被害対策 農機具を増やしたい 担い手不足		人農地プランの実践	行政の支援
子育て 子供達を遊ばせる広い場所が欲しい(支所に迷惑) 交通対策 (地域内、地域外への移動)			学校施設利用の際の規制の緩和(閉鎖時刻)
その他 若い人の定住移住対策		地域で無料バス運営(行政の補助)	
観光・歴史 もっと東行庵、陣屋跡を下関観光の目玉に		県に要望(道路)	道路網の整備 用地(跡地)確保

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

それでは地域の現状と将来を見据えた課題について協議したいと思います。

まず初めに、この地域の現在の課題について自由意見を頂きたいと思います。時間もそんなに無いので後20分。11時30分まで皆さんのご意見をどしどし出して頂ければと思います。発言される方は挙手をお願いしたいと思います。

この吉田地区の課題、大きい事から小さい事までよろしいですので、誰かよろしく。

【市民】

それではちょっと1つほど言わせていただきますが、私は民生委員でございますので、こちらのほうでご理解をお願いしたいと思います。

今、私達の民生委員というのは高齢者の1人住まいの人に、現状が良いかどうか、健康に生活していらっしゃるかかどうかという事で訪問をしているのですが、しかし、こういう吉田辺りの比較的封建的な所は、民生委員なんか家が近づくこと自体をしないでくれと。自分は民生委員の世話になるような生活をしたくないから、民生委員が自宅に行くこと自体を拒むような人が結構いらっしゃいます。

そういう現状と申しますか、私たちが心配しているのは、1人住まいの人の中には1週間くらい全く人と話をしていないという方が結構いるんですよ。

だから、どういう食事をしているのかは分かりませんが、健康な生活をしていらっしゃるのでしょうか、1週間や10日も人と触れ合った事が無いというような人がいます。

そのため、その人達にも、どこかに気楽に出てきて雑談をして帰るといような場所があったら良いかと私は以前から思っています。

それと、こういったのに引っかけて言うのも申し訳ないですが、社会福祉協議会がしている心配事相談というのが、それぞれの地区で1カ月に1回行われます。この辺りだと小月の公民館であります。

ですから、そういった事を聞くのですが、来られた人のお話の内容に対してどうこうはできませんが、その人達のお話を聞いていると、言い方は悪いですが、その内容の中身はほとんどありません。要するに、1回来られた方は2時間でも3時間でもいて、そして話をずっと聞いていると、よく喋られます。

一番、最後におっしゃられるのが、「久しぶりによく話した」、「なんかスカッとした」と言われてお帰りになる。高齢者でなくて、若い人でもそうなのですよ。

だから、そういった方の事を踏まえて考えてみると、今から先は1人住まいの人、集落にいらっしゃっても物を言わないから。今週は何人もそういった方に会いましたが、結局1人だけ浮き上がるような人って結構出てくるんです。

私は長寿会には入っていませんので、良くは分かりませんが、ここにこういう憩の家なんかあって、長寿会の皆さん方は日直とかそういったものをしていらっしゃるんじゃないかと思います。

ですから、そういった所で、もう少し普通の人が、場合によっては、元気な1人住まい

の人が手ぶらで出てきたけど、時間があるからちょっと此処に寄って、ちょっと雑談でもして帰ろうかというので、雑談だけじゃ面白くないから場合によっては善哉とかコーヒーとかそういったことくらいを実費負担して、お茶を飲んでワアワア言って帰ろうというようなことが行われたら良いなど。

高齢者の方も、もう少し人とお話をする機会ができれば良いなという風ふうに思ってるわけです。

【司会】

ありがとうございました。交流の場があればということですね。

それではどなたか。色々と吉田地区も課題が多いとは思いますが。

【市民】

農業組合法人の代表をやっております。

特に吉田は一次産業である農業が主の所でございまして、昭和一桁の戦前生まれの方が、現在、農業をリタイヤされる年齢になっております。

先ほどから話がありますように、非常に後継者が少ない、農地が荒れるという事で、平成23年に農事組合法人、会社組織を立ち上げまして、現在約40ヘクタール、吉田の約3分の1の耕地を法人が利用権設定を行い、経営しているところでございます。

こうした中で、将来の吉田の農業をどうするのかということで、今、市の農業振興課や国の方針で人・農地プラン、5年後10年後の吉田の農業をどうするかという1つの大きな方針を立てまして、吉田ファームが農地集積を行っていくという非常に大きな柱を立てたところでございます。

そうは言いますが、特に吉田の農地は山間地が多いということで、鳥獣害被害、特にイノシシ、鹿の被害が非常に多くて、本年度も約4反ばかり収穫皆無のほ場が出ている現状でございます。

こうしたことから、一つ鳥獣害対策については先般の会議資料3のレジメもありますように、一つこの辺りを市も十分取り組んでいただきたいと思います。

それからもう1点。今、非常に農家の方の高齢化が進んで、リタイヤされる方も多ということで、平成26年には、もう既に3名の方が約1ヘクタールを法人にお願いしたいといった要望があるという現状です。

こうしたことから、私達も機械整備が間に合わないということで、農機具の購入については高いもので1,000万円と非常に高価な農機具でございまして、今の最大補助率が30パーセントであり、これを出来るだけ高めて頂きたいという要望でございまして。

【司会】

ありがとうございました。吉田の農業の未来についてということでありがとうございました。それでは続きましてどなたか。

【市民】

放課後子ども教室の責任者をしております。

この放課後子ども教室と言いますと、専門の方は月に1、2回子供たちを集めて何かしらの行事をやっている、という風に捉えられるかも分かりませんが、吉田の場合は俗に言

う児童クラブに相当するものなんです。

色々とし組みがありまして、人数や学年の関係で放課後子ども教室という名前にしないと具合が悪いものですからそうしておりますけども、やっている事は児童クラブと同じで、学校が終わってから夜の6時まで、希望者をお預かりすると。

春、夏、冬の休みは朝の8時から夜の6時まで、日・祭日を除いて全部お預かりするという格好で、平成22年7月12日に吉田地区自治連合会が立ち上げまして、その時に私が副会長をやっておりましたので、あなたにやって貰えないかという話になって、今までやってきております。

公民館を入った支所の隣でやっている関係で、子供たちにしゃべるなどと言っても、ちょっと無理なことです。支所には大変ご迷惑をおかけしているんですよ。

始めた当時は、それは良いことだとなって、サポーターも25名ほどいましたが、続けるうちに、色々なご事情があったのでしょうが、現在はサポーターが10名しかいない訳ですね。

普通の日には、子供たちに付き添うのは1日3名なのですが、子供たちは20人前後が来ますので、夏休みになると午前中が3名、午後から6名のサポーターで9名になります。

毎日、出ないといけない訳ですね。それも出てこられるなら良いですが、やっぱり子供たちも元気が良過ぎまして、なかなか言うことを聞いてくれませんので、サポーターにもストレスが溜まりまして苦労しているというのが現状です。

そこで、どこか良い場所があるといいなと。気兼ねなく子供たちを遊ばすことができる場所があったらなということで、色々な方にもご相談しておりますが、お金も要ることです。ね、建物を建てるにしても、プレハブでも金が出ることでして、なかなかうまくいってないというのが現状なのです。

そこで皆さん方に考えて頂きたいのは、これを何のために始めたかといいますと、吉田に住んでいても、隣の王喜小学校や小月小学校に通われる。なぜかという児童クラブがあるからで、3年生までは夜の6時くらいまで面倒みてくれるからですね。

吉田にそういったものが無いと、それだけで小学校の児童数も段々と少なくなる。

それで何とかしないとけないということで、自治会とPTAで立ち上げたのが、通称アメンボと呼ばれている子ども教室なんです。

皆さん方には色々、この近所の人にもご迷惑をお掛けしておりますし、建物の中では支所の事務に支障が出るくらいうるさいんです。

外へ出れば、また元気が良くて周りの人に「おい、しかられへんかな」って思うくらい大きな声で遊びますので、できれば学校の一部を利用させていただければ、遊べる運動場もあると思って色々な方にご相談して、また明日もちよつと会議を開く予定にしておりますけども、何か良いご意見とか、サポーターを応援してもええよという方がいらっしゃいましたら、申し訳ありませんが、ひとつよろしくお願ひしたいということでございます。どうもありがとうございました。

【司会】

ありがとうございました。ほかにどなたか。

【市民】

吉田小学校のPTA会長をしています。

最近、私がちょっと感じるのが、よくこの地域でも言われていることで交通の便の事ですかね。

私たちは皆、車に乗りますので、普段は移動にそんなに苦労することは無いのですが、私の家でもかみさんがしばらく運転できない時期があつて、その時は移動全てを車1台でしないといけないということがありました。

私の職場は宇部方面なのですが、仕事で車を使うと、かみさんも働いていますので、夜、帰ってくる時間にはバスが無いとなつて、駅まで迎えに行かないといけない。だから、その時間に合わせて私が仕事から帰ってこないといけないとか、そういう事もありました。

今、自治会でバスのことを色々お話されていて、それを聞きしたことがあるんですけど、あの辺りは交通の便が悪く、特にバス路線は吉田支所の前を通るもの、東行庵の方面、木屋中学校方面とがあるようですが、皆さんご存じのように、木屋中を通る便は1日2本程度で、それも午後3時、4時くらいしかないのので、私達からすると全く使えない時間に運行しています。私の家からは、こっちのバス停まで出てくるのに結構、時間が掛かります。

会社の付き合いで、飲み会にどうしても出ないといけない事もありますが、そういった時は一旦、家に帰って車を置いて出かようとするのですが、ここから下関駅方面に向かうバスは午後6時3分が最終便なので、夕方、宇部の会社を出て家に着いた頃にはバスが無いという状況です。

そのため、タクシーを使うことになりましたが、いつもタクシーを使うという訳にもいけないので、どうしたものかといつも思います。

私に限らず、もっと交通の便が良ければ、高齢者の方も出かけやすくなるかと思いますが、1回、バスを使って吉田から出てしまうと、1時間に1本しか便がない状況なので、その辺りをもう少し改善していただけたら良いなと思っています。

【司会】

ありがとうございました。やはり交通の便が悪いっていうのは、本当に吉田の1つのネックになっておりますね。やはり人口を増やす上でも大きな課題ということになっていきます。ありがとうございます。他にどなたかいらっしゃいますか。

【市民】

東行庵の世話人の方が、今日は都合が悪くなったので私が代理で出ております。

吉田地区の観光といえば東行庵であろうと思います。

ここは、高杉東行先生の墓であり、124名に渡る奇兵隊主隊士の墓でもある。また、有名な方の顕彰墓地であるという顕彰碑や明治維新に向けての先駆者、その方々にまつわる場所で、1つの大きな観光の目玉となっておる訳です。

そんな中でもう1つ、奇兵隊結成ということで、陣屋跡の整備ということを観光協会として長年頑張ってきておりまして、ようやく今年、陣屋跡の試掘に関する予算を市につけて頂いて、試掘の段階に入ったと聞いております。

そこで、やはりこの明治維新の400名を超える奇兵隊士が4年間に渡って調練したと

いう非常に歴史的にも重要な場所であり、やっぱり此处を下関市の観光の目玉として、源平場があり、晋作の墓があり、奇兵隊士の墓がある一連の色々な史跡について、もう少し市もアピールして貰いたいということ。

東行庵としても、この度、ホームページを開くことにしました。

東行先生の没後150年がもう3年先に来ている訳ですが、それに向けて銅像を記念的に構築するといった事もやりましたし、一昨日は、東行先生の銅像をお建てになる台座の石を設置したところであります。

そういったことで吉田地区の観光といえば、やはり東行先生を前面に出して全国にアピールするという事で、まずは陣屋跡であり、東行の墓であり、奇兵隊隊士の墓であるということ全国に向けて、ホームページから発信していきたいと東行庵としては考えています。それにつきまして、市としても一つ、陣屋跡の整備についてバックアップして頂きたいという風に考えております。以上であります。

【司会】

ありがとうございます。今、少し市への要望的なものもあったのですが、今、我々が住んでいるこの吉田の課題ですね。そこら辺をまず挙げていただきたい。

それから、地域で出来ること、個人で出来ることを、また行政に頼まなければいけないということについて意見交換するという風になっていますので、まずは地域における課題点をお願いします。

【市民】

今日は、奇兵隊吉田本陣跡整備期成会の理事という立場で出席しておりましたが、それに関する事は先ほど東行庵からお話がありましたので割愛をさせていただきます。

最初に少しお話がありました少子高齢化の事ではありますが、吉田地区が最も当面している大きな課題は、正にこれであると思っております。そしてなんとかしなければということで、先ほど吉田放課後子ども教室運営委員会からもお話がありましたが、地域の有志の皆様方によってアメンボという放課後子ども教室、恐らく全国でもこれほど活動している放課後子ども教室は無いだろうと思っておりますが、本当に献身的に吉田の子供たちのために努力をして下さっている訳です。

吉田地区が自慢できるものは沢山ありますが、幼児教育のみどり保育園は本当に素晴らしい教育機能を持っております。吉田小学校でも昨日、運動会がありました。これはもうこの周辺では、小さい学校ではありますが最高の運動会を去年もやって頂いたと思っております。

子供たちが生き生き、のびのびと本当によく育っているなと思えますし、そして放課後も、放課後子ども教室のアメンボで本当に支えて頂いています。

私は、子供の教育環境としては、この近辺では吉田地区ほど恵まれている所はないと思っております。だから子供の事を考えても、吉田地区の活性化を考えても、もっともっと若いご家庭に吉田地区に来て頂きたいなという切なる願いを持っている訳であります。

教育環境は素晴らしいけれども、しかしまだ足りないものが幾つもあるんだと。そこが満たされれば、恐らく、これは人の奪い合いをしようというつもりはありませんけれども、

この吉田地区にも多くの方々が来て下さるんだろうなと。

これからの、私たちの一番大きな課題は、さて今の教育環境に次ぐ吉田の魅力、多くの人の来て頂く、住んで頂くための吉田の魅力って一体何だろうかなっていう事を、しっかりこういった会議の中で見つけ出していくってことだろうとっております。

そういう方向で考えていかなければと思っておりますので、一つまた市もご支援、或いアイデア等を頂けたらと思っております。以上です。

【司会】

時間も最初の予定を少し過ぎましたが、あと1名どなたか。吉田地区の安心・安全を守っている消防団から何か無いですか。

【市民】

吉田観光協会の会長をしています。

課題というか、少し大ざっぱな感じにはなりますが、やはり今、個人的に思っているのは先ほど民生児童委員の方が言われましたけど、今後も吉田地区では独居老人が沢山増えていくんじゃないかということで、それをどういった風にして本当の話し合いの場を設けていくのか。

また、空き家条例が市で制定されましたが、その空き家条例は現在、どのように運用又は実施されているのかは分かりませんが、空き家が増えていく。これも空き家を所有する人に対してでは無く、市もサポートして頂いて有効活用していくとか、そういうことをして頂ければと思います。

やはり独居老人というのは今後、増えていくと思いますので、それ辺のマイナス面ばかりじゃなくて、せつかく良い家とか土地なんかがあれば、それを有効活用していくような、その辺のことを、地域の課題へのサポートを市にお願いできればと思います。

【司会】

ありがとうございました。予定時間を過ぎましたが、他に吉田地区の課題ということで意見ありませんか。

無いようでしたら、今出た課題についての問題解決ということと、活性化などについて意見を頂きたいと思えます。

まず、最初の課題として、民生児童委員から発言のありました高齢者の気軽に集まれる場所の件、それと今、観光協会から発言されました独居老人の件。これらは同じ様なことですから、この2つの空き家対策等、これについて自助・共助・公助ということで個人で解決できるものか、地域で解決するものか、これまた行政にお願いするものかということ皆さんもちよっと考えて頂きたいなと思えます。

今、吉田地区には長寿会が持っている憩の家があるのですが、長寿会に入っていない人は、なかなか使えないというその辺の所です。長寿会でどうにか気軽に誰でも入れるように。それと、これもまた交通の便で車が運転できない老人の方がここに集まることもまた難しいという問題があるかなと思えます。

【市民】

昔はよく、この公民館に老人が集まってきていたが、最近では介護保険制度やらデイサ

ービス制度があるので、皆、デイサービスに行かせている。

【司会】

要するに、時代の流れでは民間のああいって老人ホーム、デイサービス関係があつて、そちらからもお迎えの車が来て、車を持っていなくても、運転ができなくてもそちらに行くという形ですね。だから、率先して外に出ようという方は、そういった所を利用しているという事なのですが、民生児童委員が言われたのは、あまり人と接することが苦手な方の事ですかね。

【市民】

私が言ったのは、そういう制度があつても1人で、独居老人で外に出るのが嫌だという思われる前なら良いですが、既に現状として、外出が嫌になった方というのは、なかなか難しいんですよ。

でも、こうしている間にも高齢者はどんどん増えていきますから、これからの予備軍という方がものすごくいらっしゃる訳ですね。皆さんそうなのですよ。

そういった状況になる前、まだ現状としては元気で、自動車に乗って外出されている方でも、ちょっと時間があるから少しここに寄ってみようか、寄ってみたら誰かいるんじゃないかと。ちょっと皆と喋って帰ろうかと、そういう雰囲気のものから作っていかないと、独居老人になって、1人で家に閉じこもってしまった方というのは、じゃあ明日からここにいらっしゃいと言ってもなかなか難しいのです。

ところが、さっき聞いた去年と今年、国の助成金を貰って、そういう1人暮らしの方もちゃんとした食事をしないといけないから、簡単な食事の作り方を一緒に作りましょうということで、年に2回ほど活動しています。

今度の10月16日にも行いますが、やはり、今までこういった取り組みが無かったから、初めての取り組みなので来られてはいませんが、去年も2回したので、初めての方も来てみたら意外と面白いねと言われますし、どちらかというとなんかなくても、ただその辺で包丁を持って、皆と喋っていたら料理ができたというような雰囲気なんですね。

だから、先ほどから言っていますが、もう本当に家に閉じこもってしまった方というのが、これはなかなか大変ですから、その辺りになると民生委員がちゃんと把握して、行政につないでいかないといけないと思いますが、そうなる予備軍の人を多く集めて、なんかそういう雑談を出来る場所があれば良いなという風に思っております。

【司会】

ありがとうございました。これはやはり、日頃から民生委員の方も大変だと思いますが、その辺の近所の方々と、やはりあいさつしたり声かけをしたりして、常日頃からそういうことをやっていかないと、やはり一度、家に閉じこもってしまうとなかなか出て来られないということで、やはりこれは地域で取り組んでいかなければいけないかなと思いますね。

行政というよりも、これは地域の問題としてやらなければいけないかと思います。

2ヶ月前に、安心安全のまちづくりとして講演会をやらせて頂きましたが、事件や事故が多い所は、やはり日頃から地域住民同士のあいさつが無い。そういう所には、要するに空き巣とかその辺が入り込み易いということで、やはり通ずる面があるのだなと。

日頃から気軽にあいさつ出来る、車同士で通りすがっても手を挙げたりとか、会釈するくらいの、そういった常日頃のそういう誰もが出来る簡単なことから取り組んでいくと。

だから、そういうあいさつができる町はどこでしたかね。日本一あいさつができる町は本当に明るくて、すごく健康的な、どこやろうな。

この前もある市長さんが、うちの市は全国でナンバー1のあいさつ運動ができるということで、芸能人の方が、この町ではだれかれとなく子供から年寄りまで全員がおはようございます、こんにちとはとか挨拶をする町をNHKの番組でやっていました。

やはり、その辺からの取り組みじゃないかなと私は思います。

すみません。私がちょっと結果みたいな感じの発言をしてしまって。

でも、そういう形しか無いかなと思うんですけど、どうですかね。皆さん。

あと、市に質問ですが、実際、空き家条例を使って、空き家を強制的に取り壊して、その所有者に費用を負担させて取り壊したという例はあるんですか。

【市】

空き家というのは危険家屋の話だろうと思うのですが、それはやっぱり所有者の方が。強制的にということは、それはそれであるのですが、今、市が行っているのが、1つは所有者の方が空き家の状態を、例えば壊したいけれども当然費用が掛りますので、それに助成をするというのが一義的にございます。

危険家屋の中で強制撤去といいますか、この辺は法的な手続きが要りますので、なかなか、私も強制代執行のように強制的に壊した家屋があるかどうかと聞かれると詳しくは分かりませんが、危険家屋なので自分が壊したいけれど、その費用が欲しいという方からも申し込みが多くて、現在、沢山やっている最中ですね。

【司会】

吉田地区にも結構、空き家があるんですけど、その有効活用がなかなかできない。

昨日、奇兵隊吉田本陣跡整備期成会の方が言われてちょっとその辺について。

【市民】

先日、私の方へ吉田地区外に住むある方から、半年間だけちょっと住まいを捜してほしいというご相談がありました。大人4人、家族4人が住める家が欲しいと。

田舎の空き家の1戸住宅を希望との依頼がありまして、吉田にはあちこち空き家がありますので私も歩いてきましたが、空き家はあるが中には荷物はそのまま、仏壇もそのままの状態のものがありません。家を借りたいと言われた方は、仏壇があっても良いとのことでしたが、家主としては仏壇を置いている家を他人に貸すわけにはいかないとなりました。

或いは、施設にお婆ちゃんが入っているので普段は使われていない家というものもありましたが、ふた月に1回くらい気分転換に我が家に連れて帰るので、その時に家がないと困るというような理由で何軒も断られました。いいお家、立派なお家なのですが、お断りをされました。

最終的には、ある所にお願ひに行き、なんとかなるのかなということ。これは、そういういわゆる従来の田舎の1戸住宅とは違って、借家を目的として持ち主がおられる家で、希望された条件とは少し違っていますが、ここに決まると良いなと思っております。

空き家はあってもそういう状況だという現実も有るということでもあります。

【市民】

吉田園芸組合です。

ただ今の空き家の関係ですが、私の近所では市外に住んでおられる方が時々帰ってきて、家を憩の場として、家の周りを掃除される方が2軒ほどあります。それに、吉田地区以外か空き家に入ってこられた方も2軒あります。まだ、こういった会議の場に入ってきて話をしたということは一度もありませんが。

ただ、私は思いますけど、こんなに空き家はありますけど、雑談できる場所が欲しいということです。1人暮らしの高齢者で、車にも乗れない方は移動する手段がない。

他にも民生児童委員が言われましたように、当地区担当の民生委員の方がそこをずっと定期的に回ってきていらっしゃると思いますが、もう少し魅力のある話し合いの場所、雑談ができる場所ということでのPR。

もっとも、広報などの回覧は回っては来ますが、高齢者の場合、やはり読むと言ってもなかなか読むことも難しいので、そこらの辺を随分とお話し合いが個人的にされて、そして交通を確保してもらえれば、外出される可能性も出てくるのではなかと思うんですよね。とにかく移動する手段がないと。

だから、その辺りも考えないと、なかなか外出し辛いんじゃないかと思いますので、ある意味では、定期的に、無料のマイクロバスの様なもの、そういったようなことも考えられて、市からも、少しでもご支援いただければ、少しでも違ってくるのではないかと思います。以上です。

【司会】

ありがとうございました。PTA会長が言われた、交通の便が悪いという件に関わってきたと思います。要するに、その交通の便の悪さは、この吉田から小月まで行く便だけではなく、この吉田管内を巡るための交通の便が悪い。特に朝日町とか足河内になると、どうしても1人住まいの方は多いのに、交通の便が無いという方が沢山いらっしゃいます。

その辺りの交通の便、これをどうするかと。これもまた大きな問題。

また、今年の初めに町民アンケートを行いました。その中には、やはり高校に通う保護者の方から、クラブ活動が終わって帰ってくるので、夜遅く、暗くなってから帰ってくると、歩道が無い所もあるので、子供が帰ってくるまで本当に心配だ、というアンケートの結果もありました。やはり地域での交通の便の悪さ、また地域から外に出る交通の便の悪さということで、この2点について皆さん少しご意見をお願いいたします。

【司会】

菊川・豊田・豊北等では、生活バスということで、市が合併前から行われていたものを引き続いてやられているということですが、私の知る限りでは、元々そういう交通の便が悪い所なので、どうしても乗車率が1割程度しかないということで、年間に億円ものお金が出ていると聞いています。

とは言いながら、行政のこの仕組みを見たら、お金が足りない、お金が無くなるということで、行政に100パーセント頼っていくこともちょっと難しいですし、これからの検

討になるのかなと思います。

先日、吉田地区まちづくり懇談会を開催した時に、県の方が、住民組織による無料バスの運行、要するに、お金を取るとなると、どうしてもタクシー会社やバス会社からクレームがあるということで、無償でおこなう乗合バスを立ち上げている地区もあると言われておりました。

そういった事を踏まえて、やはり、今から考えていかないといけないと思います。

その時には、吉田放課後子ども教室運営委員会の方も出席されていましたが、この中にも数人の方が出席されていたと思います。

そういった助け合いの活動をしていると、やはり維持費や燃料代など、色々なお金も必要となってきますよね。その辺りを行政とどう向き合っていくのかなと思います。私ばかり発言して申し訳ないですが。

【市民】

先ほどの無料バスの件なのですが、そういったものがあれば、今、観光協会の方がおっしゃったように、萩なんかだと観光地を巡るバスがありますよね。ここで降りて観光して、また乗って次の場所へとといったことが出来るぐるりんバスのような。

そういったものが実際に吉田でもあれば、言われたような高杉晋作に関連する色々な場所がここにはあるので、例えば、そういった場所を、小月駅と結んで、ぐるりと回るようなバスであれば、観光客も、そういうバスに乗って見て回ることができるので、今よりも観光客が増えるのではないかと思います。

あと、地域の交通ですが、吉田から内日方面へは、車を使えばこの道を使ってすぐに行けるのですが、バスで行こうと思えば、一度小月まで出て、そこから郵便局に上がる道をバスで行かなければならないので、すごく遠回りしないといけませんよね。

バスを使うと1時間以上かかるのではないかと思います。車で行けば本当もう7、8分で内日まで、こっちの道を通ったらいける状況もありますので、そういう風な事が少しでも改善できれば良いのかなと。

それと、先ほど自治連合会長が言われてたように、地域の高齢者の方、簡単に移動できるようなもの、例えばマイクロバスのように大きな車ではなくて、無料でやるのであれば、例えば、軽四のワンボックスだとか、費用が余り掛らない車両を使えばと思います。

現実には、そんなに30人も40人も乗ることは無いと思いますので、8人乗りの車、2台なんかを使って、乗れる人が少ないので何回も回るようにすれば、マイクロバスのようなものを運行するよりも維持費が掛らないのではないかなと思いますけど。

【司会】

今、小さな車で運営すればどうかという意見が出ました。この辺りについて、行政に全てを頼っていくのか、それとも地域だけでやっていくか。その辺だとは思いますが、どちらにしても100パーセントは無理だと思いますので、その辺りの取り組みに対して、市からも少しの補助金を貰いながら地域でやっていくかと。

今から、やはりここにおられる方も、15年、20年すれば、今の免許制度では試験を受けて駄目だったら運転免許を返さなければいけないような話ですから、その時に移動手

段が無くなるということで、今後は誰にも関係してくる事ですよ。

そうすると、自分たちが将来的には困ってくるということになるんですよ。だから、その辺も踏まえて、ある程度、少しずつその辺りのことを考えていかなければ、今、自分は困っていないからという訳には、将来はいかなくなるのではないかなど。要するに20年先、30年先の事を今から、やはり、全ての事に関して考えていかなければいけないと思います。

アメンボにしても、2年前に立ち上げて今のように運営して、やはり、これも地域の声を上げて、自治会とPTAが一緒になって立ち上げた。最初は、全然行政に頼らず立ち上げて、今は行政から少しの支援を頂きながらやっている。やはり、そういう吉田地区としてはいい事例があるので、そういう交通網の事も、そういった事から、やはり今からやっていかななくてはいけないのかなど。モデルのようなものでもやるような形で、真剣に考えていく、そういった時期に来ているかなと思います。

その辺で、まとめというまとめは出来ませんが、今後、そういう形で改めて。

今、吉田地区では、地域振興計画である夢プランを作ろうということで、県と市も入って、先日、まちづくり懇談会を開催しました。

今月6日に、福岡大学の教授をコーディネーターとして迎えるにあたり、私と支所長が会ってきました。その中で、夢プランの策定に向けて、バス等の運行関係なども意見交換をしていかなければいけないと思います。

それでは、次の課題として、農業組合法人吉田ファームから発言のあった農業について。

鳥獣被害対策と農機具をもっと増やしたいけれども、それに対する補助金が30パーセントしかないの、補助率を上げて貰いたいということと、今後の担い手をどうするのかということです。

補助金と鳥獣被害対策等、これは行政にお願いしなければ難しい問題でしょうね。

私が知る限りでは、今、市では鳥獣対策として、材料費を全額出して貰えるのですかね。後は自分たちでやると。

県では、私が知っているのは、5～8パーセントの地元負担で、入札制度によって材料からネットを張るまで全部ですね。今年から私が知っている人が鳥獣対策室に配属されたので、全部やってもらえるということを知りました。

要するに、若い人がいないということになると、どうしてもそういった労働力まで一緒にしたような取り組みも必要と考えているのではないかと思います。

それと、農機具を増やしたいけど、補助金が30パーセントであるという件。やはりこれはもう国の関係ですからね。今、地元の安倍総理がTPP問題で、色々と農業、漁業などの一次産業を強化していくという風に言われておりますので、成り行きを見守っていかなければいけないのですが、この辺は、やっぱり農業団体からも強いプッシュが必要だろうと思っております。

後は、担い手ですかね。今、若い人でも退職された方がほとんどですね。

【市民】

そうですね。今の現状としては、定年退職をされた方がほとんどで、現職は2名程いま

す。この方達も還暦に近いということ、どうしても若い20代、30代の雇用となると、やはり社会保険の関係、労災、そういうものが全て関係してきますので、これも年間を通じて雇用というのは難しい現状でございます。季節雇用ならば、3ヶ月更新にすれば失業保険等も掛けなくて良いのではないかと。この辺りは、色々なやり方があるかと思えます。

特に、吉田地区の農業は吉田で守るという基本理念の下に、私達がやっておりますので。

先ほど申し上げたように、国あるいは市の指導によりまして、5年後、10年後の吉田地区の農業をどうするのかというので、人・農地プランという1つの大きな柱を立てております。これに向かって、今からこの吉田地区の農業を進めて参りたいという風な決意を持っているところです。以上。

【司会】

ありがとうございます。

ということは、吉田ファームを立ち上げた方々は、10年先、20年先のプランを作って動いているということですね。

私が知っている朝日町の方は、茄子を栽培している。そこで少しお話をしたのですが、農業だけで生計を立てられるように、年収400～500万円を目指しているとのことでした。茄子と米と野菜、そうなれば農業にも魅力が出て、それこそ普通のサラリーマンよりも収入があるのではと思いますし、自分のための時間も取れるという形で、そういった魅力ある農業を目指していると聞きました。

そういう風な取り組みも、やはり必要では無いのかなと思います。

やはり、農業をやると、これだけ大変だけれども、これ程の収入もあるよとなれば、若者も目を向ける可能性が十分あるのかなと思います。

続きまして、子育て。アメンボです。アメンボですが、活動拠点が今は支所の中なんです。なかなか支所や近所の方などにも、ご迷惑を掛けているということで、子供たちが伸び伸びと遊べる場所と居場所があればということでございます。

学校の施設内というのが一番良いのではと思いますが、なかなか学校も時間的な事や色々な規範というか、規則があるみたいなので、その辺で難しい面があるんですね。

それから行政が決めた基準で、ここは5時までとか、4時までとか決められているので、それを少し、それぞれの学校の事情に合ったような形にしてもらえれば。

ただ、今までの行政のように、4時までの決まりだから、4時じゃなければ駄目というのではなくて、吉田は、これだけ頑張っているんで6時までなら良いよとか。その辺の融通なのですよね。

【市民】

まあ、そういう事でしょうね。今、アメンボが市からお借りしている公民館の部屋の広さが40平方メートルなんです。現在、吉田小学生の児童数は53名ですが、その内の35名がアメンボに申し込んでいます。

もちろん毎日35人が来る訳ではありませんが、今の部屋ですと、椅子を並べられるのが26名分しか並べられません。夏休みに入ると、それよりも多くの子供たちが来ること

もある訳なんですね。雨の日なんかは無理を言って、公民館の3階もお借りすることがあるのですが、早く勉強が終わった子は、おしゃべりを始めるので、私が、うるさいから出て行けって言いますもので、部屋にいつまでも居られない。だからもう狭い部屋に押し込んでおくのもかわいそうでね。もう少し広い場所があれば良いと思います。

色々な案が無い訳でもございませんが、どうなるかは分かりませんし、また決まりましたら皆さんにご報告申し上げます。

【市民】

隣の王喜や小月はどういうような状況なんですか。

【市民】

あれは子ども教室じゃなくて、児童クラブとして小学校3年生までが対象でして、30名以上を毎日、預かっています。夏休みや春休みといった長期の休みでどうされているかは、私も聞いておりません。

【市民】

学校が預かる訳ですね。

【市民】

いいえ、学校の一部、空き教室を借りている場合が多いのですが、そこで市が雇用する指導員が預かっています。

【市民】

吉田には無いのですか。

【市民】

今はありません。学校は時間になったら警備がかかるので、我々が学校の空き教室を借りると、その部屋だけ警備を別にしないとイケなくなります。

何かあった場合、お母さんが迎えに来るまでの時間、預かれない訳です。お母さんやお父さんが、5時までお勤めでしたら6時頃には子供たちを迎えに来くる訳です。そうすると、警備が先にかかってしまいます。

去年の夏、学校を使っても良いよとなって、学校の理科室をお借りしたのですが、警備がかかるとなって、4時半頃から子供たちに全部の荷物を持たせて体育館に移動することになりました。

お父さんお母さんがお迎えに来る6時頃まで、体育館で待つ訳ですが、子供たちにも、サポーターの方にも負担が掛る訳ですね。

もし、吉田小学校でやるとしたら、警備を完全に別にしてもらって、学校の都合に関係なく、その部屋が使えるという格好にして頂かないと、ちょっと使い勝手も悪いですし、先生方にも迷惑かけるといった難しい所があるんです。

【司会】

アメンボを作って、地域の方と子供たちの顔がよく見えるし、本当にプラスの事が多くて、子供たちも、地域の方もよく知っているから、あいさつもするというすごく良い結果が出ています。やはり、これはまだ続けていくべきだなと思いますので、これも吉田地区の良いところとして、地区外に発信していける、ナンバー1ということで、しっかりとや

っていければと思います。

最後になりますが、観光と歴史ということで、東行庵陣屋跡を観光の目玉にということ
です。

東行庵、今、これはお寺ということで、これまでずっと地域の方々が吉田地区として守
ってきた所であります。今回、高杉晋作の銅像を建立するということで、地元も一生懸命
やっている所なのですが、今、市でも、中尾市長が一生懸命に維新に対して取り組もうと
いうことで、やって頂いているのですが、我々、吉田からすれば、まだまだ力の入れ方が
足りないのではという意見が多いのではないかと思います。

我々の地域でも、もっと取り組みを強化していかなければいけない所もあります。

要するに、これも先ほどお話しした、交通の便の事もあるんですよね。

先月も、女性の方が1人で東行庵に来られたので、ちょっとお声かけしたら、滋賀県か
ら来たが、ここはなんとも交通の便が悪いですねと言われました。

要するに、JRで下関まで来て、バスに乗り換えて来られたらしいのですが、次のバス
の便を確認すると、1時間半くらい待たないといけないということで、その女性には、1
時間半ほど此処をじっくり見て帰って下さいと言いました。

やはり、今は、歴女というか、歴史がすごく話題になって、特に女性の方、若い方が結
構、観光でここに来られるということですが、その辺り、どうしても吉田はJRも通って
ないし、バスの便も1時間、2時間に1本という形ですので、観光で来られる方も、なか
なか吉田には行っても便が悪い、半日も掛るとなるんですよね。

そうすると、吉田までは行きたいけれど、長府で観光して終わりというパターンで考え
る方も多んじゃないかなと。

道路網も悪くて、小月から吉田につながる道も、県道でありながら歩道が無い所がある。

歩道が有っても幅員が1メートルに満たない所があるということで、大変危険な状態
であります。

吉田地区としては、その辺の道路網が整備されれば、小月駅に観光用自転車として、無
料で貸し出す自転車を置いても良いなと思っていますので、その辺もやはりやっていく
べきじゃないかな。

やっぱり、人が来れば色々な面で活性化も出来ると思いますし、交通の便が悪いとい
うことは、地元の方も外に出て行きづらいし、よそから来られる方も、吉田までは来られ
ないという部分があるかなと思います。

【市民】

陣屋跡整備期成会から参加させていただきましたが、今、本当に有り難い事に、先ほど
もお話がありましたが、奇兵隊の本陣跡については市から調査費をつけて頂いて、今から
具体的な調査に入るという段階でございまして、その結果も大変、期待しております。

実は、現在、跡地は個人の所有地でありまして、大変高齢の方がお持ちなんです。

いつ、何かあってもいけないけれども、あるかもしれませんし、跡取りのお嬢さんは、
現在、結婚されて吉田から出られております。

そういう事で、今、ご健在の持ち主の方は、非常に吉田のまちおこしであるとか、東行

庵の活動等に協力的なんです。だから待ちますと言って下さっておるんですが、万一の時には、今度は、そのお嬢さん達にその権利が渡るわけです。

都会にお住みで、こちらに帰って来られる可能性も無いということで、その大事な本陣跡を今のうちになんとかしなければ、今後、誰のものになっていくか分からないという非常に危うい状況がありまして、早急に、何とかこの用地だけは公の用地にしておいて頂きたいなという、そういった切羽詰まった気持ちを地区の方は今、持っておるわけでございます。

当面は、自然公園的な形で良いとは思いますが、時間を掛けて、更に、由緒ある奇兵隊本陣跡を整備して頂ければ、吉田だけではなく、下関、或いはもっと広く、多くの地域の皆様方にとって役に立つと言いますか、そういう場所にしていくことは出来ないかということも考えております。

吉田の地区民として、色々な絵を描いていこうという、将来どういう風にしていきたいという、今、その段階でございますけれども。跡地については以上でございます。

【司会】

皆さんから色々な意見が出たと思いますし、今、意見交換ということで時間も12時を過ぎました。これで意見交換を終わりたいと思います。

それでは総括ということで、スライドをご覧頂きながら集会の総括をさせて頂きたいと思っておりますので、すみませんがスライドをよろしくお願いします。

高齢者ということの意見が出まして、まず自助ということで介護サービスの利用は自分でやる。デイサービス等ですね。また地域では独居になる前からコミュニティに参加するということで、日頃からの声かけ運動といいますか、あいさつ等を行っていこうと言う事です。行政、公助については無いということで、個人と地域で担っていこうということですね。

続きまして、産業で、一次産業の農業です。これも今、吉田ファームで色々な10年先、20年先のプランを練っていて、その実践に向けて頑張っているということ。

それに対して、鳥獣対策とか農機具等をやり替えたり、新しい機械を導入するためには行政の大きな支援が要るということですので、その辺はよろしくお願ひしたいという事です。

子育てということで、アメンボですが、今は、支所の一部を借りている、公民館の一部を借りているのですが、色々と迷惑も掛る事も多いということで、どっかに良い居場所とか、そういう拠点になる所が出来れば嬉しいなという事で、一番良いのは学校関係を使わせていただくのが良いなという事です。そのためには、規制の緩和をして頂ければ良いということで、これは市にお願ひしたいなと思っております。

続きまして交通対策です。地域内、地域外という移動が、なかなか吉田は交通網が整備されてないとか、バスの運行時間が少ないということで、この辺を地域と行政で無料バスの運営。やはり、地域が大きな事をやらないといけないけれども、行政からも少しの補助を頂いて、行政に100パーセントという事は今からの時代、難しいと思うので、地域での無料バスの運営に関する話し合いも、今後、やっていかなければいけないかなと思

います。

観光・歴史ですが、これはやはり市外から来られる方にも交通網が悪いという事で、道路網の整備を、まず県にお願いしたいということと、やはり陣屋跡、ここが今、個人の所有なので、公の土地に早くして頂ければ、将来、我々も安心して、長い目で見ていくことができますので、その辺を早急に考えて頂ければということになりました。

ということで、総括的なものになりました。予定時間も少し過ぎまして、皆さんからも色々な意見が出て、答えも出たと思います。

まだまだ、色々な地域の課題もあるとは思いますが、連合会とか、色々この地域の各団体もやはり横の連携を密にして、今から取り組んでいかなければいけないことが多々ありますので、また私からもよろしくお願ひしたいなと思います。それでは以上で終わりたいと思います。

【市】

最後に、部長からちょっとコメントがございますので。

【市】

ありがとうございました。大変活発なご意見を頂きました。

元々、吉田地区に於いては、まちづくりが盛んといえますか、もともと気運がある地域でございますので、多分、他の地域では無いような活動もされている。

正に、東行庵を始めとした奇兵隊陣屋跡の整備なんかは、此処に特化したお話でもあるでしょうが。

ただ、その内容については、今、お聞きするとやはり要望というものがあります。

それは、多分このまちづくり集会でご要望いただくべきものではなくて、大変失礼な言い方になりますけども、それは各組織、或いはそういう団体から行政にご要望頂ければ良いのだと思います。

このまちづくりの集会と言いますか、今後、目指す組織は何かと言うと、あくまでも自主・自立という言い方が基本になります。当然、行政がやらないといけない分野というものはある訳です。それは基盤整備というような、今の道路を整備しましょうとか、歩道もしっかりですね。或いは福祉の分野がどうであるとか、教育がどうだという所は当然あるのですが、その中で、行政の行き届かない所。或いは、ここの地域の特性として、他の一律に切って貰ったのでは困りますよと。ここについては、特に私たちは力を入れていきたいというような所に対してという、まずは行動を起こして頂いて、その中で行政が支援できる所があれば、というような考え方でございますので。今の中ではちょっと混在しておる部分もございました。

多分、ここの地域で、今、大きく何があるかと言うと、観光はちょっと別にして、陣屋だとかいう話は別にして、高齢者に対する対応、或いはちょっと悪循環になっているかなという子供に対する対応。

例えば、子供さんが外に出られているといった事。ただ、その中で特徴的に放課後子ども教室を開いていらっしゃる場所は、なかなか無いですよ。

ちょっと話が長くなって恐縮なのですが、児童クラブの制約というのがありまして、子

どもの人数がある一定以上でないと、児童クラブを開設できないという。

正に、その代替役として活動して頂いているという話。

この中は非常に、特に評価させて頂きたいというところですが。

その使い方については、自治連合会長からお話もありましたけれど、学校とよく話をさせて頂いて、多分クリアできる所もあるのかなと思います。

おっしゃられている今の課題のところ、正に学校側が言っているところで、入れないというのは機械警備の中ではあったと思いますし、その中で、実際に警報がかかっているのは、特別教室と職員室、校長室等々だけなので、多分、教室はかかっているはずではないのですが、大元の部分に入れないので、多分、出て行って下さいというような話になるのだと思うのです。それをどう整理できるかということもありますし、体育館をずっと最初から使うといっても、椅子も何もない所では勉強もできないでしょうから。

もう少しその辺りも整理して頂いて、一番は児童クラブそのものを、教室を使ってやっている所もありますので、そういう意味では決して出来なくは無いですので、よく整理されて下さい。

そのためには、初期投資も幾らか要るかもしれませんが、それは教育の中での整理の話。

そういう様な事で、子供さんをコミュニティで、或いはお年寄りをコミュニティでということ是非常に大事な事なので、そういったことを総括的に、こう話をして頂く組織なり、場を作って頂ければということでございます。

特に、生活バスの話も出ました。路線バスがあるところには、生活バスを走らすことはできません。実は、行政が一番お金をつぎ込んでいるのは、路線バスに対する赤字補填であって、生活バスの経費よりもはるかに高くなります。

これは何億円という風につぎ込んでいますが、片や、旧4町の生活バスの運行経費は5,000万程度なのです。ただ、これも難しく、これは料金を頂いております。無料という話にはなりません。無料という話になると正に地域でご活動頂くような話になって、これが自助といいますか、共助になるのかもしれませんがね。それに対して公的なものがどこに加わってくるかということでしょうが。

因みに、豊北町の二見という所で、この自助・共助というか、自分たちで走らせております。これは病院に行くとか、買い物に行くとかいう、お年寄りを中心に、自分たちで運営されている所もあります。

一切、公は経費負担を支援しておりません。若干、今回お話があったのですが、結局は難しいということで、自分たちで解決されるというようなお話もありましたが。それは今から具体的な内容が入ってきて、どこで役割分担するかとかいう話になりますので。

あくまでもこの会議は、自分たちがこうしたい、そのためにはどういふことが必要だ、ということをお話し頂くということで、是非これから先はそういう視点で見いただければと思います。今日は大変ありがとうございました。